

令和2年度事業報告及び事業報告の附属明細書について

I 概要

かながわのナショナル・トラスト運動や県土緑化運動を一層推進するため、地域緑化活動を通じたネットワークの拡大及び緑地保全事業や、県民参加の森林づくり事業の強化を基本方針として各事業について次のとおり取り組んだ。

しかし、本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種イベントや研修会の中止、縮小により財団本来の活動が大幅に制約され、寄附金や募金収入等の減少及び会員サービスが低下したため、新たにインターネットを活用したライブ配信を導入し、情報発信に努めた。

- 普及啓発事業では、WEBサイトや機関誌「ミドリ」による情報発信のほか、小網代の森でのアカテガニ放仔観察のライブ配信や自然観察会の実施等を通じ、積極的にかながわのナショナル・トラスト運動等の普及啓発を行うとともにみどりのトラスト会員の募集に取り組んだ。
- 地域緑化活動事業では、かながわのナショナル・トラスト運動の普及啓発活動を行うとともに、みどりの実践団体の育成に努めた。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットのPR事業として、フォトラリーの実施に取り組んだ。
- 緑地保全事業では、土地所有者との緑地保存契約の継続や拡大に努め、県内各市町村が行う緑地等指定事業への助成、保存契約緑地等の維持管理及びトラスト緑地で自然再生等の活動を行っているボランティア団体を支援した。
- 県民参加の森林づくり事業では、森林ボランティア活動の推進、成長の森の造成、新たな活動フィールドの準備等により、県民の森林づくりへの参加促進に努めた。
- 緑の募金事業では、緑の募金活動を行うとともに、直接事業として緑化運動・育樹運動コンクール等の実施、支援事業として学校や団体の行う緑化活動や緑の少年団の活動への支援を行った。また、いきいき緑基金を活用し、県内で活動するボランティア団体等に対し、竹林等の整備として竹粉碎機の貸し出しを行った。

II 事業の実施状況

1 普及啓発事業

(1) 広報普及活動

みどりを守り育てる運動を県民や企業等に周知し、会員登録、基金への募金、運動への参加を促進するために各種イベントでのPR、ホームページや地域情報誌等による広報、自然観察会等を行った。

ア イベントでの普及啓発活動

パネル展示等

開催日 令和2年7月18日(土)～26日(日)ほか1回

場所 藤沢市長久保公園

内容 「かながわのナショナル・トラスト運動」パネル展示

イ 三浦半島スタンプラリー 中止

ウ 機関誌ミドリの発行

機関誌ミドリを4回発行し、会員や県、市町村、県立公園、博物館等に配布して県民のみどりに対する理解増進を図った。

号	発行	発行部数	主な内容
117(夏)	2年 6月	11,000部	サワガニ、春の葛葉緑地、キアシドクガなど
118(秋)	2年 9月	11,000部	財団事業報告、古民家で暮らすハチたち、真鶴半島など
119(冬)	2年12月	11,000部	公園でカモをスケッチ、横浜市泉区の田んぼ体験、ナラ枯れ被害など
120(春)	3年 3月	11,000部	身近な植物観察、仙石原緑地など

エ 小網代の森インフォメーションスペースの出展等

出展内容

期 間 令和2年7月1日(水)～令和3年3月31日(水)

場 所 三浦市民交流センター内小網代の森インフォメーションスペース

内 容 普及啓発パネル、小網代の森の動植物の写真展示

オ かながわのナショナル・トラスト運動のPR

トラスト運動リーフレットや啓発用物品を作成し、市民団体や企業等に配布した。

- (ア) 入会申込書付きリーフレット 18,000部
- (イ) 小網代の森リーフレット 2,000部
- (ウ) かながわトラストみどり基金チラシ(かながわキンタロウ☆ブックキフ) 8,000部
- (エ) 財団概要及びイベント&森林ボランティア冊子 1,500部
- (オ) 入会申込書付き折込チラシ 617,500部

カ WEBサイト等の充実

- ・ホームページアクセス件数 13,726件/月(目標15,000件/月)

公式WEBサイトやSNS(facebook、Twitter)で会員募集や寄附の情報発信及びWEBサイトのリニューアル整備に取り組んだ。

キ 自然観察会等の開催

- (ア) 歴史見学(公益財団法人鎌倉風致保存会との共催)

開催日 令和2年11月7日(土)

場 所 鎌倉市元八幡宮

参加者 9人

内 容 古都鎌倉の緑と歴史

- (イ) 森林探訪(NPO法人かながわ森林インストラクターの会との共催)

開催日 令和2年10月25日(日)

場 所 二宮町吾妻山

参加者 17人

内 容 植物、樹木の観察

- (ウ) 自然観察会等

開催日 令和2年8月6日(木)ほか13回

場 所 平塚市進和学園ほか

- 参加者 153人
内 容 街路樹、植物、野鳥などの観察
- (エ) トラスト緑地周遊クルーズ
開催日 令和2年11月14日(土)
場 所 小網代湾から大崎緑地
参加者 15人
内 容 ヨットに乗船して三浦半島のトラスト緑地を巡る
- (オ) みどりのトラスト講座(インターネット動画配信)
公開日 令和3年3月23日(火)
内 容 果樹の剪定等樹木管理(3講座)、冬の水辺周辺で野鳥観察(3講座)
視聴数 234件
- ク 小網代の森観察会の開催
(ア) ホタルの見頃に夕方観察会等 中止
(イ) アカテガニ放仔観察ライブ配信
開催日 令和2年8月4日(火)ほか1回
場 所 引橋入口からアカテガニ広場
視聴数 143件
内 容 インターネットを活用したオンラインライブ配信による緑地内での自然観察、アカテガニ放仔等の観察
- ケ 関係団体と自然観察会等の共催及び普及啓発に係る事業の委託等
(ア) 関係団体との共催等
公益財団法人鎌倉風致保存会、NPO法人かながわ森林インストラクターの会と自然観察会等を共催した。
(イ) 委託事業の実施
NPO法人小網代野外活動調整会議に当財団の普及啓発及び会員募集を委託した。
- コ 顧客管理システムの管理
会員、寄附者及びイベント参加者等の情報管理の効率化やセキュリティーの向上に努め、顧客管理システムの基盤整備を強化した。
- サ かながわトラストみどり財団サポーター制度の活用
財団の事業運営を支援するサポーターを追加登録した。
登録人数 77人
活用回数 なし(中止)
- シ かながわ緑の大使の選任
若い世代へ財団の運動を普及啓発するため、中学生1人、高校生1人を選任した。

ス 会員数

・新規会員 普通会員 425人（目標500人）、トラスト緑地保全支援会員 133人（目標120人）

[]は内、トラスト緑地保全支援会員数

会員種別		平成30年度	令和元年度	令和2年度
普通 会 員	個人会員	3,739人 〔396人〕	3,672人 〔405人〕	3,578人 〔438人〕
	家族会員	6,557人 〔669人〕	6,267人 〔683人〕	6,053人 〔706人〕
	団体会員	267人 〔25人〕	271人 〔26人〕	274人 〔29人〕
特別会員		313人	310人	310人
名誉会員		5人	5人	5人
会員数		10,881人 〔1,090人〕	10,525人 〔1,114人〕	10,220人 〔1,173人〕
(内、過去1年間に会費の納入があった会員数)		(9,162人) (86.7%)	(8,853人) (87.1%)	(8,641人) (87.2%)

※ 会員規則第8条第1項第2号により「会費を引き続き2年以上納入しないとき。」は会員資格の喪失が規定されております。

(2) 緑化協力金制度の運営

25箇所の協力駐車場のうち当財団では片瀬海岸地下駐車場や四季の森公園など16箇所の駐車場の緑化協力金を集結し、県のトラスト基金への積み立てを行った。

2 地域緑化活動事業

地域緑化を推進するため、みどりの実践団体を募集するとともに、みどりの実践団体が行う緑化活動の支援を行った。また、一堂に会する研修会を各団体の個別課題に応じた専門家を派遣する研修会に変更した。かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットは、「フォトラリー」の応募締切を延期し、PR事業に取り組んだ。

(1) みどりの実践団体の育成

・財団事業に参加した団体数 257団体（目標200団体）

地域におけるみどりの愛護と創造を实践する団体に対し奨励金及び地域緑化活動助成金を交付した。

初年度奨励金 2団体

地域緑化活動事業助成金 45団体

また、研修会は川崎地区、相模原地区、三浦半島地区、県央地区、湘南地区の8団体からの課題に対応した専門家を派遣し実施した。

ア NPO法人海老名里山づくり山仕事の会（県央地区）

テーマ 蔓切、除伐など健全な里山の維持管理

開催日 令和2年10月19日（月）

場 所 海老名市内鍛冶返緑地

参加者 23人

- イ 翠ヶ丘みんなの森を育てる会（湘南地区）
テーマ 桜の手入れ方法など
開催日 令和2年10月25日（日）
場 所 藤沢市翠ヶ丘公園緑地
参加者 12人
- ウ 多摩緑地保全地区こもれびの会（川崎地区）
テーマ 樹木、草花の剪定方法
開催日 令和2年11月8日（日）
場 所 川崎市多摩緑地保全保全地区こもれびの森
参加者 46人
- エ 金田花の会（湘南地区）
テーマ アジサイなど街路樹の剪定方法
開催日 令和2年11月15日（日）
場 所 平塚市花菜ガーデン北側
参加者 15人
- オ 湘南高浜台ハイツグリーンクラブ（湘南地区）
テーマ マツの手入れ方法など
開催日 令和2年11月15日（日）
場 所 平塚市湘南高浜台ハイツ
参加者 16人
- カ 新磯野2丁目市民緑地を守る会（相模原地区）
テーマ 中低木の剪定方法など
開催日 令和2年12月5日（土）
場 所 相模原市新磯野2丁目市民緑地
参加者 8人
- キ 北鎌倉湧水ネットワーク（三浦半島地区）
テーマ ヤマザクラの管理方法
開催日 令和2年12月10日（木）
場 所 鎌倉市六国見山森林公園
参加者 10人
- ク 湘南二宮・ふるさと炭焼き会（湘南地区）
テーマ ナラ枯れの対策方法
開催日 令和2年12月16日（水）
場 所 二宮町せせらぎ公園隣接の雑木林
参加者 14人

（2）地域活動の育成

県民参加による緑化推進、かながわナショナル・トラスト運動の普及啓発、会員の拡大等を推進するため講演会を開催した。また、かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットは、選定された各スポットを活用してフォトラリーの実施及び広報に努めた。

ア 湘南グリーンコネクション2020

開催日 令和2年12月6日（日）
会 場 秦野市立本町公民館「多目的ホール」
参加者 51人

イ かながわのみどりや森林におけるパワースポット・癒やしスポットのフォトラリー

申 込 令和元年11月1日(金)からの応募累計 23件
周 知 神奈川新聞、タウンニュース、湘南ケーブル、パンフレット設置、ポスター
掲示、機関誌ミドリ、財団WEB

3 緑地保全事業

緑地所有者と緑地保存契約を締結して、緑地の適正な維持管理に努めるとともに市町村の緑地等指定事業への助成を行った。

また、緑地で活動する市民団体への支援や蟹田沢緑地の保全を行った。

(1) 緑地保存契約

5箇所の緑地について緑地所有者と保存契約を継続し、新たに久田緑地において2,386㎡(目標500㎡)の保存契約を締結した。

緑地名	緑地総面積 (㎡)	保存契約 対象面積 (A) (㎡)	保存契約 面積 (B) (㎡)	契約率 (B/A) (%)	契約 期間 (年)	年間賃借料 (円)
葛葉緑地 (秦野市)	152,784.95	77,022.84	56,425.84	73.3	10	2,922,352
久田緑地 (大和市)	96,767.00	81,891.00	75,179.00	91.8	10	5,283,572
泉の森緑地 (大和市)	79,454.31	38,629.46	26,698.38	69.1	10	3,498,680
大崎緑地 (逗子市)	70,936.70	34,343.70	17,544.70	51.1	10	1,438,665
小網代の森 緑地(三浦市)	574,500.00	104,007.00	104,007.00	100	10	33,531
5緑地 計	974,442.96	335,894.00	279,854.92	83.3	—	13,176,800

(2) 保存契約緑地等の維持管理

葛葉緑地(秦野市)、久田緑地(大和市)及び大崎緑地(逗子市)の自然環境の保全のため、樹木の管理及び看板整備等の適正な管理に努めた。

(3) 市町村の緑地等指定事業への助成

市が緑地所有者との契約により緑地保全を図る事業に助成した。

市町村	緑地等指定面積	実績額	助成金交付額	助成率
横浜市他11市	638,123.30㎡	49,081,632円	17,000,000円	34.64%

(4) 緑地保全コーディネート

ア 小網代の森保全利活用対策協議会

小網代の森緑地について、財団、県、有識者、保全活動団体等で構成する小網代の森保全利活用対策協議会を開催して小網代の森の利用、保全対策、管理活動等について協議した。なお、本年度は、書面により2回開催した。

イ トラスト緑地の保全支援

トラスト緑地の保全活動にあたる4団体に対してトラスト緑地保全支援事業として活動

費を助成した。また、ヤマユリの自生地再生を目的に「かなユリ・チャレンジ」を推進した。

- ・小網代の森緑地（NPO法人小網代野外活動調整会議）
新型コロナウイルス感染症拡大防止の立入規制のため、日常作業ができず湿原の乾燥化やササの繁茂化などの対策作業を重点的に取り組んだ。
- ・久田緑地（久田緑地くらぶ）
竹林の定期的な伐採や落ち葉かきなど里山の維持管理活動に取り組んだ。
- ・桜ヶ丘緑地（桜ヶ丘・水辺のある森再生プロジェクト）
水辺の環境の維持管理作業や斜面地管理などに取り組んだ。
- ・葛葉緑地（くずはの家ボランティアの会）
緑地内の清掃、外来種駆除、ヤマビル対策等に取り組んだ。
- ・かながわトラスト緑地・ヤマユリ自生地再生チャレンジ（社会福祉法人進和学園）
緑地で採取した種子や球根を育成し、令和2年12月に返還式として、育成した球根等を緑地に植え戻した。

ウ 蟹田（ガンダ）沢の保全

京浜急行電鉄株が所有する蟹田沢緑地（小網代の森隣接地）の保全に協力するため、ビオトープの整備、生態系の保全業務を受託した。

4 県民参加の森林づくり事業

(1) ボランティア活動の推進

県民参加による豊かな森林づくりを推進するため、多様な森林づくりボランティア活動の機会の提供、小・中・高校生への森林体験学習等の支援、企業・団体等が行う森林づくり活動等への指導者の派遣、用具の貸し出しを行った。

- ・ボランティア参加者数 3,496人（目標10,500人）

ア 県民参加の森林づくりボランティア活動

新型コロナウイルス対策での開催が10回、中止が7回

活動内容 植栽、枝打、間伐、除伐、竹林整備

参加者 401人

イ 団体の活動発表会 中止

ウ 小・中・高校生の森林学習等支援

学校数 21校

活動内容 森林学習、自然観察、森林作業体験

参加者 2,013人

エ 団体等への指導者の派遣

回数 5回

活動内容 自然観察等

参加者 92人

オ 団体等への用具の貸し出し

回数 20回

活動内容 森林作業体験等

参加者 990人

(2) 森林インストラクター活動

県民の森林への理解を深めるための普及啓発やボランティア活動に対する森林インストラ

クター派遣の調整を委託した。

ア 森林インストラクターの派遣調整事務の委託

財団、学校及び各種団体等が行う森林づくり活動や自然観察の指導等に係る森林インストラクターの人選、調整、派遣等をNPO法人かながわ森林インストラクターの会に委託した。

回数 37回

派遣人数 369人

イ 森林インストラクターブラッシュアップ研修

回数 1回

参加者 34人

ウ 神奈川県森林インストラクターの養成 中止

(3) 森林づくり普及啓発

県民の森林への理解を深め、森林づくりへの参加を促進するため、普及啓発活動を行った。

ア 森林づくり日程表等の作成

森林づくりへの参加を促進するため森林づくり活動日程表等を作成し、配布した。

日程表の作成数：20,000部 配布先：既参加者、行政機関、企業等

イ やどりき水源林の案内 4月～8月中止

県民に水源の森林づくりへの理解を深めるため、「水源かん養機能の高い見本林」として整備している「やどりき水源林」に毎週土曜日と日曜日（12月から2月を除く）に「森の案内人」を配置し、水源の森林づくりの解説や森林の案内を行っている。

配置場所：やどりき水源林（松田町寄）

配置人員：延べ56人

ウ 成長の森の造成

赤ちゃんが誕生した家族から神奈川県産無花粉スギの苗木の寄付を受け、県と財団が連携して県立21世紀の森で森林づくりを行い、かながわの森林への理解増進を図った。

苗木寄付 88家族 140人

エ 街頭キャンペーン 中止

オ 水源林のつどいの開催等

県、森林関係団体等で構成する「県民との協働による森林づくり実行委員会」の事務局として新定着型ボランティア事業を実施した。

(ア) 水源林のつどい 中止

(イ) 新定着型ボランティア事業

場 所 相模原市鳥屋松ヶ丘の森

団体数 1団体

内 容 県管理の水源林の一定エリアについて、自主的に森林づくり活動を行う団体に対し支援を行った。

5 緑の募金事業

(1) 緑の募金活動

ア 会議の開催

(ア) 第18回緑の募金運営協議会

開催日 令和2年5月20日（水） 書面決議

主な議案 令和元年度事業報告及び収支決算

(イ) 第19回緑の募金運営協議会

開催日 令和3年3月10日（水）書面決議

主な議案 令和3年度緑の募金実施要領及び令和3年度事業計画、収支予算

イ 募金活動

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭募金活動を制限する中、学校、職場、企業、団体等において、緑の募金運動を展開し、次のとおり募金収入を得た。

（目標 21,400,000円）

募金種別	令和元年度	令和2年度
緑の羽根募金	14,406,333円	10,423,785円
緑化グッズ募金	6,794,096円	7,082,960円
計	21,200,429円	17,506,745円

(2) 地域緑化の推進

ア 学園緑化推進事業

緑の募金協力校が実施する小規模な学校緑化に対し支援した。（53校）

イ 指定校緑化事業

緑の募金協力校の中から、神奈川県教育委員会及び神奈川県私学振興課の推薦を得て、学校環境緑化に積極的に取り組む9校を指定し、学校緑化を実施した。

公立学校の部（6校）

小学校 川崎市立富士見台小学校ほか2校

中学校 平塚市立神田中学校ほか1校

高等学校 県立相模田名高等学校

私立学校の部（3校）自修館中等教育学校ほか2校

ウ ふれあい緑化事業

地域住民等が自主的に行う植樹活動への支援及び県民への苗木配布を実施するとともに「緑の募金」及び「かながわのナショナル・トラスト運動」の普及を図った。

(ア) 植 栽 川崎市貝塚渡田第2公園ほか3箇所 230本

(イ) 苗木配布 三浦市初声下宮田市民交流センターほか1箇所 255本

(ウ) 資材購入 沢山つつじをまもる会（横須賀市） 腐葉土等

(エ) 森林整備 山北町平山地内 間伐等

エ 丹沢の緑を育む集いへの参加

丹沢大山地域において県民参加による森林衰退域への植生回復事業、ボランティアとの協働による大山北尾根周辺での植栽や保全活動、水質調査等を実施している「丹沢の緑を育む集い実行委員会」（構成員：神奈川県、秦野市、清川村、当財団等）に支援した。

オ 森林づくり体験（保全活動）

県立21世紀の森において広く県民を募集し、森林整備活動を実施した。

実施日 令和2年10月25日（日）

場 所 南足柄市内山

内 容 竹林整備

参加者 24人

カ ジュニアフォレスター教室 中止

(3) 緑の少年団の活動支援

森林での体験学習活動、地域での社会奉仕活動、レクリエーション活動等を行う緑の少年団の育成強化と活動支援を実施した。

ア 緑の少年団交流集会の開催 中止

イ 緑の少年団連絡調整会議

開催日 令和2年5月22日（金）書面による開催

(4) 緑化運動・育樹運動コンクールの開催

緑化運動・育樹運動コンクールを実施し、入賞者を表彰した。

ア 表彰日 令和2年11月28日（土）

イ 会場 県立地球市民かながわプラザホール

ウ 入賞者等（上位入賞作品は（公社）国土緑化推進機構主催全国コンクールへ出品）

（ア）ポスター原画コンクール（応募点数 286点、入賞点数 41点）

		小学校	中学校	高等学校	合計
応募点数		112	109	65	286
賞の選定数	最優秀賞	1	1	1	3
	金賞	2	1	1	4
	銀賞	3	2	2	7
	銅賞	4	3	1	8
	佳作	6	8	5	19
	合計	16	15	10	41

（イ）標語コンクール（応募点数 292点、入賞点数 37点）

		小学校	中学校	高等学校	一般	合計
応募点数		93	123	37	39	292
賞の選定数	最優秀賞	1	1	0	1	3
	金賞	2	3	1	1	7
	銀賞	2	3	1	1	7
	銅賞	4	3	1	1	9
	佳作	3	4	2	2	11
	合計	12	14	5	6	37

エ 令和3年用国土緑化運動・育樹運動コンクール（主催（公社）国土緑化推進機構）

（ア）ポスター原画コンクール

国土緑化推進機構理事長賞（入選） 2人

（イ）標語コンクール

入選 なし

(5) 緑の祭典への参画

開催に向けて県民参加の森林づくり実行委員会の事務局として候補地の調整を行った。

(6) いきいきみどり基金による支援

竹林整備等支援事業

森林整備等の活動に取り組むNPO法人等に竹粉碎機の利用登録や貸し出しを行った。

登録団体 18 団体

貸出団体 9 団体

(7) 協力等事業

ア (公社) 国土緑化推進機構関係

(公社) 国土緑化推進機構の要請により次の業務を実施した。

(ア) 企業の森づくり体験活動事業

企業が行う森林づくり体験活動をサポートするため、土地所有者等と協定を締結し具体的な企画、提案を行うとともに、活動フィールドの整備、情報発信、森林インストラクターの派遣などを行った。

(イ) 公募事業 (緑の募金、緑と水のファンド)

国民参加の森林づくり運動を推進するため、森林整備や緑化活動の事業に取り組む団体に対し、公募事業を周知した。

(緑の募金公募) 採択 2 団体

(緑と水の森林ファンド公募) 採択 該当なし

(ウ) 学校環境緑化モデル事業

学校環境の緑化を通じて、青少年環境教育の推進を目的に学校敷地内の緑化や環境教育フィールドの整備を行う学校を支援した。

申請 1 校、採択 1 校 (伊勢原立竹園小学校)

(エ) 緑の募金推進体制整備交付金

「緑の募金」の推進体制の整備、普及啓発・広報及び募金活動への取り組み強化するための支援を受けた。

イ (公社) ゴルフ緑化促進会関係

応募 1 市 採択 1 市 (茅ヶ崎市)

III 理事会、評議員会等の開催状況

定款及び関係規程に基づき財団の運営について審議するため、次のとおり会議を開催した。

なお、本年度は財団定款 (決議の省略) 第 4 5 条に基づき書面による決議とした。

1 理事会

(1) 第 17 回定時理事会

提案日 令和 2 年 6 月 10 日 (水)

主な議案 令和元年度事業報告及び収支決算等

(2) 令和 2 年度臨時理事会

提案日 令和 2 年 6 月 19 日 (金)

主な議案 理事長及び専務理事の選定

(3) 第 18 回定時理事会

提案日 令和 3 年 3 月 17 日 (水)

主な議案 令和 3 年度事業計画及び収支予算

2 評議員会

第 9 回定時評議会

提案日 令和 2 年 6 月 19 日 (金)

主な議案 評議員、理事の選任並びに令和元年度収支決算等

3 緑の募金運営協議会

(1) 第 18 回緑の募金運営協議会 [再掲]

(2) 第 19 回緑の募金運営協議会 [再掲]

事業報告の附属明細書について

公益財団法人かながわトラストみどり財団定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の内容を補足する重要な事項を記載すべき「事業報告の附属明細書」は、本事業報告に掲載しているため作成しておりません。

令和3年6月
公益財団法人かながわトラストみどり財団